

ペーパークラフト

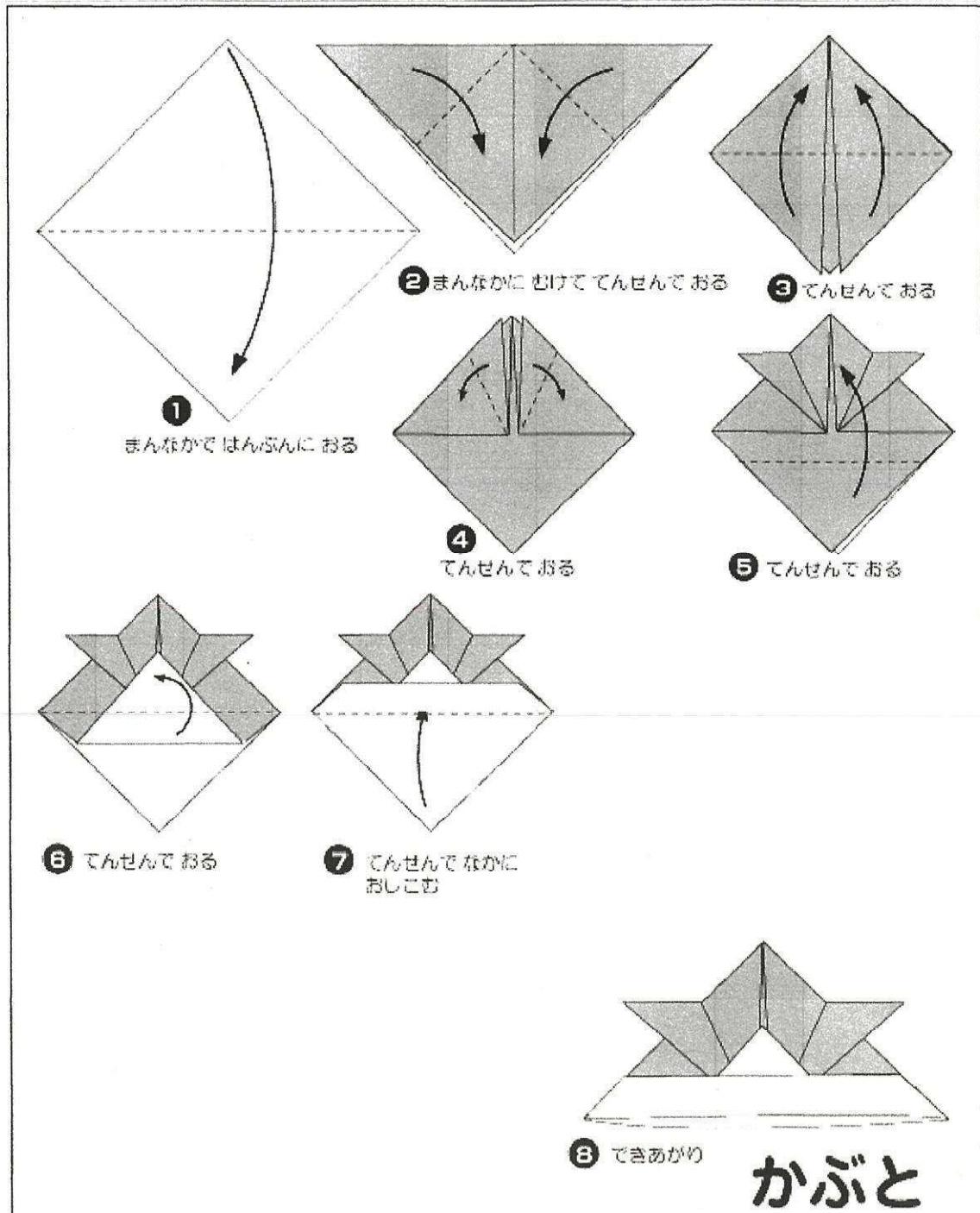
令和6年4月13日

紙の扱い方には 1 折る 曲げる 2 切る 3 貼(は)る
があります。また、紙にはツルツルした表とざらざらした裏があります。

1の「折る」「曲げる」は、折り紙や折り紙飛行機がよく知られています。
そして、折り方には「山折り」や「谷折り」の折り方があります。折るときには、定規を当て千枚通しやボールペンで折り線を作り、その線に沿って丁寧に折ります。

練習：「折り紙」で「かぶと」を折ってみましょう。

(点線は「谷折り」で、実線は「山折り」、矢印は折る方向です)



2の「切る」には、ハサミやカッターナイフが使われます。そして、机などを傷つけないように「工作板」を使います。「工作板」は、緑色で1cmのマス目がかいてあるほうが「カッター板」で、青色のつるつるしているのが粘土を扱うときに使う「粘土板」です。「切る」時には、紙の厚さによって1回で切れるとき、2回・3回と切らなければならないときがあります。

3の「貼る」には、ノリや木工用ボンドが使われます。ふつうは、薄く均一にぬったほうが早く乾きます。

練習：画用紙を使って1辺5cmの大きさのサイコロを作ってみましょう。

- ・直角を出すときは分度器か三角定規を使う
(のりしろを忘れないように)

練習：段ボールでプルバックカーを作ってみましょう。

用意するもの：型紙用の紙、定規、鉛筆、カッターナイフ、段ボール（本体）
竹ひご3本、ペットボトルのキャップ4個、輪ゴム6本
グルーガン、ニッパー
(段ボールは竹ひごが自由に回る目の大きさ)

1, 車体を作る

- ①青線の外枠で切り出す
- ②段ボールの目の部分が型紙の赤線にあたるように
- ③目の中心に赤線がくるようにする。
もう一方が中心にこないときは全長を変えてでも中心にくるように
- ④調整出来たら太い黒線で切り出す

2, 車輪を作る

- ⑤できたら竹ひごを通してみる
- ⑥竹ひごがでっぴりの中心を通過していればOK
- ⑦車輪用にキャップの中央に穴をあける。(裏に中心マークがあるものが多い)
- ⑧中心をキリやカッターナイフで穴あけ
(カッターを使うときは中心に押し付けてぐるぐる回せばできる)
- ⑨穴の大きさは竹ひごがぎりぎり通るくらい
- ⑩残りの3つも同じように作る
- ⑪キャップに竹を通し、端を数ミリ残す
- ⑫回転させてゆがみがないか確かめる(できるだけスムーズに回るように)
- ⑬もう1本も同じように作る
- ⑭グルーガンで接着 ゆがんだらすぐ直す
- ⑮前輪から取り付ける 段ボールの穴を通したら回転を確かめる
- ⑯反対側からキャップを押し込む
本体の出っ張りに当たらないように
回転のゆがみを直し接着する

竹ひごの余分は切る

⑰後輪も同じように

3, 輪ゴムを動力にする

⑱動力の準備をする

⑲輪ゴム2本をつないで1本にする

⑳後輪の竹ひごにきつくまきつける (ゆるいとまきつかない)

㉑もう一方は前輪近くの穴の端に通した竹ひごに通す

(この竹ひごは段ボールからはみださないように余分なところは切る)

㉒車輪にすべり止めの輪ゴムをつける 完成

